



### ③1 中高 美術科問題の解答について (注意)

1. 解答はすべて、別紙のマークシートに記入すること。
2. マークシートは、電算処理するので、折り曲げたり、汚したりしないこと。また、マーク欄はもちろん、余白にも不要なことを書かないこと。
3. 記入は、HBまたはBの鉛筆を使って、ていねいに正しく行うこと。(マークシート右上の記入方法を参照) 消去は、プラスチック消しゴムで念入りに行うこと。
4. 名前の記入 名前を記入すること。
5. 教科名の記入 教科名に「美術」と記入すること。
6. 受験番号の記入 受験番号欄に5けたの数で記入したのち、それをマークすること。
7. 解答の記入
  - ア. 小問の解答番号は1から46までの通し番号になっており、例えば、25番を 

25
----

 のように表示してある。
  - イ. マークシートのマーク欄は、すべて1から0まで10通りあるが、各小問の選択肢は必ずしも10通りあるとは限らないので注意すること。
  - ウ. どの小問も、選択肢には①、②、③……の番号がついている。
  - エ. 各問いに対して一つずつマークすること。

(マークシート記入例)

フリガナ	ヨウベタロウ	教科名	美術
名前	神 戸 太 郎		

数字で記入……

受験番号					小問 番号	解答記入欄	小問 番号	解答記入欄	小問 番号	解答
						1 - 25		26 - 50		51
/	2	3	4	0	1	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	26	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	51	0 0 0 0
0	0	0	0	0	2	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	27	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	52	0 0 0 0
0	0	0	0	0	3	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	28	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	53	0 0 0 0
0	0	0	0	0	4	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	29	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	54	0 0 0 0
0	0	0	0	0	5	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	30	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	55	0 0 0 0
0	0	0	0	0	6	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	31	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	56	0 0 0 0
0	0	0	0	0	7	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	32	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	57	0 0 0 0
0	0	0	0	0	8	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	33	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	58	0 0 0 0
0	0	0	0	0	9	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	34	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	59	0 0 0 0
0	0	0	0	0	10	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	35	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	60	0 0 0 0
0	0	0	0	0	11	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	36	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	61	0 0 0 0

【1】平成30年4月から小学校、特別支援学校小学部、平成31年4月から中学校、特別支援学校中学部で全面实施される「特別の教科 道徳」（道徳科）について、下の問いに答えよ。

(1) 道徳科の授業で、「道徳的価値の理解」について指導する際に、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 授業者の意図や工夫による学習を行う。
- ② 特定の価値観を児童生徒に押し付ける指導を行う。
- ③ 道徳的価値は大切であってもなかなか実現することができない人間の弱さについても指導する。
- ④ 道徳的価値を基に、自己を見つめることができるような学習を行う。
- ⑤ 児童生徒自らが様々な視点から物事を理解し、主体的に取り組む学習を行う。

1

(2) 「道徳科の評価」について、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 児童生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握する。
- ② 教師にとっては、指導の目標や計画、指導方法の改善・充実に取り組むための資料となる。
- ③ 児童生徒の指導に生かすために、数値等による評価を行う。
- ④ 児童生徒がいかにか成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価を行う。
- ⑤ 評価に当たっては、道徳科の学習活動に着目し、年間や学期といった一定の時間的なまとまりの中で把握する。

2

(3) 道徳科の評価としての「見取り」について、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

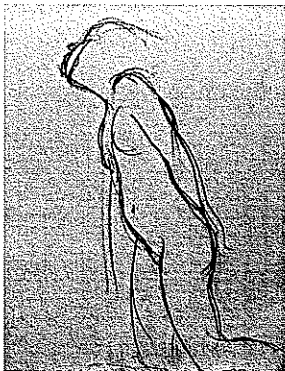
- ① 教師や他の児童生徒の発言に聞き入ったり、考えを深めようとしたりしている姿に着目する。
- ② 児童生徒の変容は、学級担任のみで見取る。
- ③ 発言や感想文、質問紙の記述等から見取る。
- ④ 道徳的価値を自分のこととして捉えているか、丁寧に見取る。
- ⑤ 一人一人の学習の困難さに応じた評価につながるよう見取る。

3

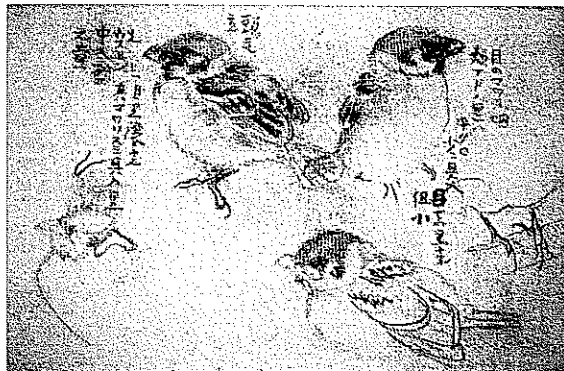
【2】ものを観察して描く行為は、見る力や感じ取る力、考える力、描く力を育成するために、効果的に授業に取り入れる必要がある。次の問いに答えよ。

(1) 下の図ア～ウは、描き方（表現形式）の違いを示した例である。最も適切な説明を①～③から選び、番号で答えよ。

図ア



図イ



著作権保護の観点により

掲載いたしません。

- ① 対象を深く見つめ、形や明暗をしっかりとらえて描く。明暗を調子で表すことで立体感を表現している。
- ② 対象の形や動きを素早くとらえて描いている。動きをとらえるためには線の勢いや強弱が大切である。
- ③ 描きたいものの形やイメージをとらえ、簡単に写し取っている。発見したことや感じたことを自分らしく表現している。

ア	4	イ	5	ウ	6
---	---	---	---	---	---

(2) 図イの描き方（表現形式）を何というか。適切なものを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ① 漫画
- ② スケッチ
- ③ デッサン
- ④ 細密画
- ⑤ 水墨画
- ⑥ イラストレーション

7

(3) 図イの描き方（表現形式）は、作品の発想や構想の場面から、完成、発表や交流までのあらゆる場面で必要な学習であり、大きく3点でとらえることができる。適切でないものを①～④から選び、番号で答えよ。

- ① 伝える相手の立場に立って、伝えたい情報を分かり易く絵や図に描くプレゼンテーションとしてのもの。
- ② 見たことや思いついたこと、アイデアなどを描きとめ、イメージを具現化するための発想や構想を練るもの。
- ③ 他者の作品を忠実に再現し、作風を写し取ることでその作者の意図を体感、理解するためのもの。
- ④ 自然や人物、ものなどをじかに見つめて、諸感覚を働かせ、様々な視点から対象をとらえて描くもの。

8

【3】 生徒が絵画制作に取り組む上で、表したい主題をもつことは大切である。次の問いに答えよ。

(1) 「自画像」制作で、生徒が主題を生み出す場面の指導として、適切でないものを①～④から選び、番号で答えよ。

- ① 自己を見つめて生じた感情などを言葉に書かせたり、会話で聞き取ったりする。
- ② 正確なプロポーションで形をとらえられるよう、陰影や立体的な描き方、効果的なタッチなどを指導する。
- ③ 作品名をつけ、主題をより明確にさせる。
- ④ 鑑賞の指導とも関連を図りながら、作者の感じ方や考え方が表現する上では重要であることを理解させる。

9

(2) 主題を基に構想を練る場面での指導に対する考えとして、適切でないものを①～④から選び、番号で答えよ。

- ① 主題から構想へという一方向のとらえではなく、発想や構想の段階が行き来するなど弾力的に行う。
- ② 構想を練ることは、対象を今一度深く見つめたり内面や本質をとらえ直したりすることであり、「何を表したいのか」を自分の中で確認する行為でもある。
- ③ 独創的で個性豊かな表現をするために、省略、強調して描いたり、材料の組み合わせを考えたりするよう指導する。
- ④ 主題は生徒自らが強く表したいことなので、構想を練っているうちに異なった考えが浮かんでも、当初の主題を大切に、深化させるようにする。

10

【4】 デザインの平面構成は、デザイン表現の基礎的な技法や考えを学ぶ上で大切な学習である。次の問いに答えよ。

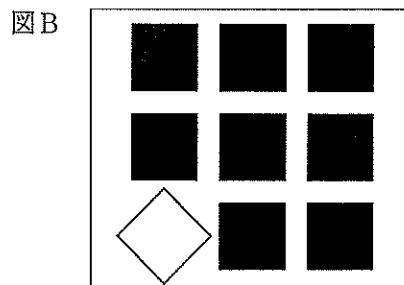
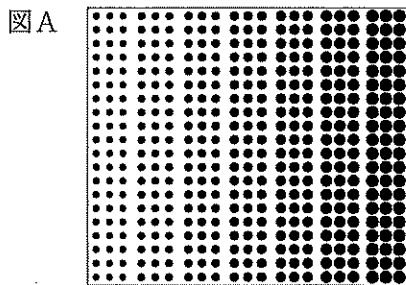
(1) 次の文の (ア)～(ウ) にあてはまる適切なものを①～⑩から選び、番号で答えよ。

平面構成では形や色を (ア) したり強調したりして、画面全体の構成を考えることが大切である。ムラなく均一に絵の具を塗る (イ) やマスキングなどの技法を学習し、色の知識を生かして、美しい構成をつくり出したい。何か具体的なものを表した形を具象形といい、これに対して円や正方形などの形のように、具体的なものを表していない形を抽象形という。抽象形による平面構成は変化と (ウ) が大切である。

- ① 点描    ② 強弱    ③ 平塗り    ④ 単純化    ⑤ レタリング  
 ⑥ 統一    ⑦ 動き    ⑧ 面塗り    ⑨ 明確化    ⑩ スパッタリング

(ア)	11	(イ)	12	(ウ)	13
-----	----	-----	----	-----	----

(2) 次の図は、デザインの構成要素の例である。図A・Bについて最も適切なものを、I群、II群からそれぞれ選び、番号で答えよ。



[ I 群 ]

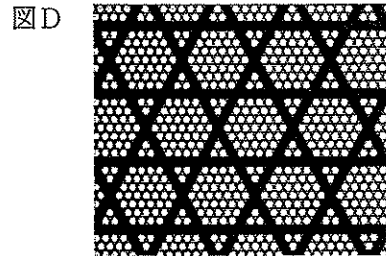
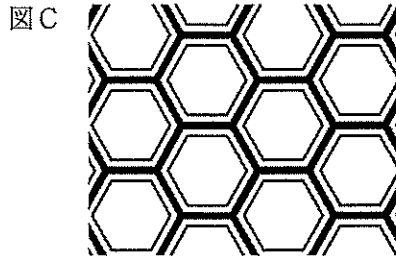
- ① リズム    ② アクセント    ③ シンメトリー    ④ グラデーション  
 ⑤ バランス    ⑥ コントラスト    ⑦ ムーブメント    ⑧ リピテーション

[ II 群 ]

- ① 点や線や面を中心にして、左右上下が対応する構成。  
 ② 同じ形やユニットの規則的な繰り返しによる構成。  
 ③ 形や色が一定の割合で段階的に変化する構成。  
 ④ 形や色の変化により動きを感じさせるような構成。  
 ⑤ 形や色の効果によって部分を強調して、全体の感じを引き締める構成。

	[ I 群 ]	[ II 群 ]
図 A	14	15
図 B	16	17

(3) 日本の伝統文様は、動植物や器物、自然現象などを基に構成して作られ、建築、衣類、工芸品などに幅広く用いられている。下の図C・Dの文様はどのような願いが込められているか、適切なものを①～⑥から選び、番号で答えよ。



- ① 平安 ② 長寿 ③ 豊作 ④ 良縁 ⑤ 安産 ⑥ 魔除け

図C	18	図D	19
----	----	----	----

【5】伝えたいことなどを視覚的に伝える方法の一つに、ポスターがある。下のポスターについての記述を読み、次の問いに答えよ。

ポスターは、印象に残る絵柄や⑦簡潔な言葉を①画面に効果的に配置することで、伝えたい内容を見る人に印象強く伝えることができる。

(1) 下線部⑦をデザインの用語で何というか。適切なものを①～⑩から選び、番号で答えよ。

- ① レイアウト ② ロゴ ③ メッセージ ④ テーマ ⑤ スケッチ  
⑥ スペーシング ⑦ コピー ⑧ レタリング ⑨ ピクトグラム ⑩ 錯視

20

(2) 下線部①をデザインの用語で何というか。適切なものを①～⑩から選び、番号で答えよ。

- ① レイアウト ② ロゴ ③ メッセージ ④ テーマ ⑤ スケッチ  
⑥ スペーシング ⑦ コピー ⑧ レタリング ⑨ ピクトグラム ⑩ 錯視

21

【6】 イメージしたことを表現するには、様々な方法がある。次の問いに答えよ。

(1) (ア)～(ウ) の技法の説明として、適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

(ア) ドリッピング            (イ) スパッタリング            (ウ) デカルコマニー

- ① 絵の具をつけた糸を二つ折りにした紙の間にはさんで、紙を押さえながら糸を引くと、糸が移動した跡が模様として現れる。
- ② 筆などで絵の具を画面にたらす。ストローで画面上の絵の具を吹いたり、画面を傾けたりして表現する方法もある。
- ③ 二つ折りにした紙の内側に多めに絵の具をつけて紙を閉じてこすり、開くと対称形ができる。ガラス板などの上に絵の具を盛り、紙を当てる方法もある。
- ④ 金網の上から絵の具をつけたブラシでこすると、霧状になった絵の具で画面にぼかし模様ができる。
- ⑤ 容器に水を張り、墨汁や専用の絵の具などをたらす。水面を棒で静かにかき回したり、口で吹いたりして模様をつくり、紙を押し当てて模様を写し取る。

(ア)	22	(イ)	23	(ウ)	24
-----	----	-----	----	-----	----

(2) ドリッピングの技法を使用して制作された作品を図①～⑤から選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

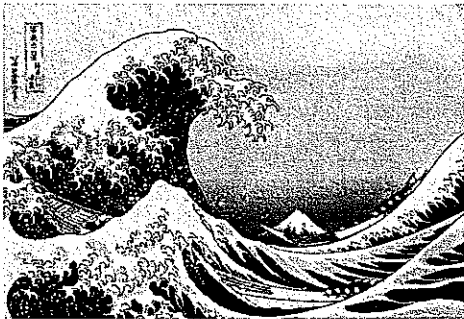
(3) 問(2)で選んだ作品の作者を①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ① マックス・エルンスト    ② フェルナン・レジェ    ③ 瀧口修造  
④ ジャクソン・ポロック    ⑤ 白髪一雄    ⑥ 吉原治良

26

【7】 鑑賞活動を通して、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めることは大切である。葛飾北斎の富嶽三十六景について、次の問いに答えよ。

(1) 図Aの作品名を①～⑥から選び、番号で答えよ。



図A

- ① 山下白雨    ② 甲州伊沢暁    ③ 神奈川沖浪裏  
④ 駿州江尻    ⑤ 甲州三坂水面    ⑥ 甲州石班澤

27

(2) 図Aの説明として適切でないものを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ① まるで大きな獣が爪を立てて襲いかかってくるような荒ぶる大波を遠景に描いている。  
② 山なりに盛り上がる手前の波と富士山が相似形を成している。  
③ 巧妙に仕組まれた構図により鑑賞者の視線を富士山に誘導している。  
④ ゴッホが絶賛するなど西洋の美術作品に影響を与えた。  
⑤ 作曲家ドビュッシーの交響詩「海」の着想を導いた作品である。  
⑥ 大きくせり上がる波の荒々しい「動」と富士の「静」を表現している。

28



(3) 下の作品「凱風快晴」の説明として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。



- ① たなびく雲の様子から、夏の強い南風のことである凱風の感じが伝わる。
- ② 朝日に照らされ刻々と表情を変えていく富士が描かれたとされる。
- ③ ゴッホの作品「タンギー爺さんの肖像」の中に模写されている。
- ④ 山肌の赤、空の藍色や裾野の緑色の補色対比があり、動的な表現の印象を与える。
- ⑤ 雲が明るく描かれ、黒褐色で雨脚はわからないが稲妻が闇の内に光っている。

29

【8】 美術文化を理解する上で、日本と諸外国の表現の相違点や共通点に気付くことは大切である。美術がたぐなく人と文化について、次の問いに答えよ。

(1) 下の作品「紅白梅図屏風」の作者名を①～⑥から選び、番号で答えよ。



- ① 尾形光琳      ② 円山応挙      ③ 伊藤若冲
- ④ 長谷川等伯      ⑤ 狩野永徳      ⑥ 俵屋宗達

30

(2) 作品「紅白梅図」に見られる特徴的な構図はどの作品の影響を受けたか、①～⑥から選び番号で答えよ。ただし、「紅白梅図」の作者の作品は除く。

- ① 雪松図屏風(円山応挙 作)      ② 風神雷神図屏風(俵屋宗達 作)      ③ 燕子花図屏風(尾形光琳 作)
- ④ 松林図屏風(長谷川等伯 作)      ⑤ 唐獅子図屏風(狩野永徳 作)      ⑥ 群鶏図(伊藤若冲 作)

31

(3) 下の作品「ストックレ邸のフリーズ 生命の樹」の作者名を①～⑥から選び、番号で答えよ。



- |               |              |
|---------------|--------------|
| ① アルフォンス・ミュシャ | ② ジョルジュ・ブラック |
| ③ アンリ・マティス    | ④ グスタフ・クリムト  |
| ⑤ シャコモ・バッラ    | ⑥ ルネ・マグリット   |

32

(4) 作品「ストックレ邸のフリーズ 生命の樹」は作品「紅白梅図」の影響が考えられる。「紅白梅図」に代表される装飾的絵画の系譜を①～⑥から選び番号で答えよ。

- |          |       |           |
|----------|-------|-----------|
| ① 狩野派    | ② 印象派 | ③ ポスト・モダン |
| ④ ジャポニスム | ⑤ 琳派  | ⑥ 南画      |

33

【9】 中学校美術の指導計画の作成と内容の取扱いについて次の問いに答えよ。

(1) 次の表は「A表現」の中学校3年間における指導計画である。○印のある学年でそれぞれの内容を指導するものとして、適切なものを①～⑥から2つ選び、番号で答えよ。

①

A表現 学年	(1)と(3)		(2)と(3)	
	感じ取ったことや考えたことなどを基に表現する活動		伝える、使うなどの目的や機能を考え表現する活動	
	描く活動	つくる活動	描く活動	つくる活動
第1学年	○			○
第2学年		○	○	
第3学年	○	○	○	○

②

	描く活動	つくる活動	描く活動	つくる活動
第1学年	○	○	○	○
第2学年	○			○
第3学年		○	○	

③

	描く活動	つくる活動	描く活動	つくる活動
第1学年		○	○	
第2学年	○	○	○	○
第3学年	○	○		○

④

	描く活動	つくる活動	描く活動	つくる活動
第1学年	○	○	○	○
第2学年	○		○	
第3学年		○		○

⑤

	描く活動	つくる活動	描く活動	つくる活動
第1学年	○		○	○
第2学年	○	○	○	○
第3学年		○	○	

⑥

	描く活動	つくる活動	描く活動	つくる活動
第1学年	○	○	○	○
第2学年		○	○	○
第3学年	○			○

(2) 美術に関する知的財産権や肖像権について、ア～オの文を読んで適切なものには①を、適切でないものには②の番号で答えよ。

ア 自己や他人の創造物の絵画、漫画、イラストレーション、雑誌の写真などには著作権がある。

イ 著作者の没後または著作物の公表後100年を経ない作品には著作権がある。

ウ 他人の著作物を活用した作品であっても、教育活動の中でつくられたものにおいては、コンクールへの出品は許可されている。

エ 肖像権については著作権などのように法律で明記された権利ではないが、プライバシーの権利の一つとして裁判例でも定着している権利である。

オ 写真やビデオを用いて人物などを撮影して作品化する場合、教育活動の中では相手の了解を得る必要がない。

ア	36	イ	37	ウ	38	エ	39	オ	40
---	----	---	----	---	----	---	----	---	----

- 【10】 中学校美術科を教える上で、小学校図画工作科とのつながりは大切である。次の文は、「小学校学習指導要領」（平成20年3月告示）と「中学校学習指導要領」（平成20年3月告示）の内容の抜粋である。(a)～(f) にあてはまる適切なものをそれぞれ①～⑤から選び、番号で答えよ。

〔小学校学習指導要領 第2章第7節図画工作 第2各学年の目標及び内容〕

〔第5学年及び第6学年〕

(2) 感じたこと、想像したこと、見たこと、(a) を絵や立体、工作に表す活動を通して、次の事項を指導する。

ア 感じたこと、想像したこと、見たこと、(a) から、表したいことを見つけて表すこと。

イ 形や色、材料の特徴や構成の美しさなどの感じ、(b) などを考えながら、表し方を構想して表すこと。

〔中学校学習指導要領 第2章第6節美術 第2各学年の目標及び内容〕

〔第1学年〕

(1) 感じ取ったことや考えたことなどを基に、絵や(c) などに表現する活動を通して、発想や構想に関する次の事項を指導する。

ア 対象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出すこと。

イ 主題などを基に、全体と部分との関係などを考えて(d) な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。

(2) 伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや(e) などに表現する活動を通して、発想や構想に関する次の事項を指導する。

ア 目的や条件などを基に、美的感覚を働かせて、構成や装飾を考え、表現の構想を練ること。

イ 他者の立場に立って、伝えたい内容について分かりやすさや(f) などを考え、表現の構想を練ること。

ウ 用途や機能、使用する者の気持ち、材料などから(f) などを考え、表現の構想を練ること。

- (a) ① 思ったこと ② 伝え合いたいこと ③ 体験したこと ④ 考えたこと ⑤ 調べたこと  
 (b) ① 意図 ② 気持ち ③ 条件 ④ 場所 ⑤ 用途  
 (c) ① 工芸 ② 陶芸 ③ 工作 ④ 版画 ⑤ 彫刻  
 (d) ① 个性的 ② 創造的 ③ 立体的 ④ 効果的 ⑤ 再現的  
 (e) ① 工芸 ② 陶芸 ③ 工作 ④ 版画 ⑤ 彫刻  
 (f) ① 使いやすさ ② 大きさ ③ 耐久性 ④ 美しさ ⑤ 安全性

(a)	41	(b)	42	(c)	43	(d)	44	(e)	45	(f)	46
-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----